

人口総数	87,897	世帯数	32,703
男	41,349		
女	46,548	面積	17.31km ²

発行

芦屋市役所（公聴広報課）
 ☎0797-31-2121
 〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号
 毎月1日・15日発行

1991年(平成3年)
 2月15日号
 No. 583

広報あしや

和風園 市立養護老人ホーム を建て替え

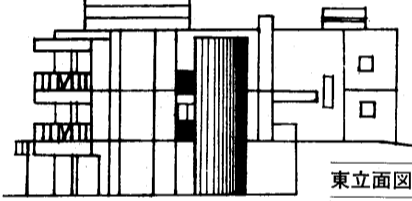


芦屋市立養護老人ホーム「和風園」完成予想図

高齢者の住みよいまちづくりを目指し、施設の整備として、朝日ヶ丘町にある市立養護老人ホーム「和風園」（定員五十人）の建て替え工事に着手します。完成は平成三年十二月の予定です。問い合わせは、市福祉総務課管理係（☎2040）へ。

二月十六日に着工

現在の建物は、昭和四十年に建築したもので、老朽化が進んでおり、また四人部屋が多く狭いので、入所者の生活環境を良くするよう建て替えます。



東立面図

居住環境を改善

これまでの施設は入所者の居室が二人部屋一室、四人部屋十二室であったものを、新たな施設では個室四室、二人部屋二十三室とし、トイレ・洗面所をほぼ二室に一か所設けるなど、入所者の利便性に配慮しています。また、入所者の楽しいイベントなどが行いやすいように、食堂と集会室を隣接して配置し、一体利用ができる工夫をしています。

敷地面積は約千六百五十平方メートル、建物は鉄筋コンクリートの三階建てで、延床面積は約千三百二十平方メートルとなります。

養護老人ホーム

自宅での生活が経済的に苦しく、また生活環境が好ましくない状況にあるかたに入所していただくホームです。対象となるかたは、(1)65歳以上、(2)経済的に生活が困難なかた、(3)身体上もしくは、精神上または環境上の理由で自宅で生活していくことが困難なかたです。

CATV(9ch)で「広報チャンネル」

昨秋開局したCATV事業では、NHK・民放・衛星放送などの再送信も含めて三十チャンネルが放送されています。

市は、その中の「九」チャンネルで「芦屋広報チャンネル」として市からのお知らせを放送しています。

若い力で国際交流

モンテペロ市への学生親善使節募集

姉妹都市モンテペロ市（米国・カリフォルニア州）にホームステイし、現地での生活体験とお互いの文化・社会にふれ、国際的視野を広め、帰国後は、国際交流活動に貢献していただきます。

●募集人員：二人
 ●資格：派遣時に本市に三年以上在住する高校以上の学生（大学院生除く）で、海外生活（通算三カ月以上）の未経験者
 ●期間：七月下旬から約一カ月間
 ●費用：旅費は、芦屋姉妹都市協会が負担。バスポート取得費と傷害保険料は本人負担（約二万円）

●選考試験：(一次)三月二十四日(日)午前九時三十分から市民センター四〇一室で。(二次)面接試験
 ●申し込み：三月四日(月)から二十日(水)までに、芦屋姉妹都市協会事務局(市生活文化課内)☎2007へ。



交歓風景(右から2人目が昨年度の学生親善使節有末さん)

今月のビデオ放送時間	月	火	水
	10:00 17:00	11:00 18:00	12:00 19:00
	木	金	日
	13:00 20:00	14:00 21:00	16:00 23:00

「芦屋広報チャンネル」では、午前六時から午前0時まで、大型ごみの収集日、保健センター・保健所のお知らせ、日曜祝日当番医、図書館・市民センターのお知らせ、その他市のイベントや事業などのお知らせを文字放送でご覧いただけます。また月一程度、左表の時間には市政ビデオも放映しています。問い合わせは、市公聴広報課(☎2006)へ。

感謝・前進のための反省

芦屋川畔の松並木に降りそそぐ日ざしと、清らかな流れが象徴するかのよう、未(ひつじ)年の新春が穏やかに訪れました。わが国の平和に感謝しながら、これの維持と発展に、次代の責任を感じました。一月四日、市役所の仕事始め式では、幹部職員を前に、「感謝の気持ち、前進のための反省」を説きました。こうして私の考えが職員に浸透し、市民サービスに専心できる市役所の土壌ができた。せんだって、一部の日報が報道した職員の仕事情熱の件も、責任を問われるようなことはあ



市長随想

健康と心 見えてくる記 ④

れないものがあります。一日も早い平和の回復を祈りながら、本年初の随想をお届けします。昨年は、市制五十周年にあたり、各種事業を企画し、「さすが芦屋」とおほめの言葉をいただけるスマートな事業や式典を行うことができました。正月三日、日本経済新聞に豊かさのランキングが特集されました。全国の主要都市を対象に、住民が生活の豊かさを実感できる度を調査したもので、生活の快適度・安全度、利便度など生活に密接に関連する八つの要素を調査、分析したものです。本市は、総合点七五・

市民の学習活動の姿、浮かび上がる

「市民の生涯学習に関する意識調査報告書」まとまる

現在、私たちを取り巻く社会は、高齢化社会、国際化社会、情報化社会などと呼ばれ、刻一刻と変化しつつあるといえます。こうした急激に変化する社会を迎え、私たちが心豊かに生きるためには、生涯にわたって自己の充実や生活の向上のため学び続ける、「生涯学習」が必要であると、最近よくいわれています。

そこで市教育委員会では、市民のみならずが快適に学べるような学習環境づくりの基礎資料を得るため、平成二年七月、約一、五〇〇人の成人を対象に生涯学習に関する意識調査を実施し(図表1)、このたび報告書がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

生涯学習の意識高く 学習行動も広がり

▽「生涯学習」という言葉の認知については、「言葉を知ったことがある」が五六・八%と最も多く、「内容までよく知っている」の三五・一%を合わせた認知率は九一・九%でした。この数値は、総理府が昭和六三年に全国調査したときの認知率五八・〇%を大きく上回りました。

▽「学習の必要性」については、「強く感じている」四一・〇%と「どちらかといえば感じている」四九・九%を合わせると九〇・九%で、ほとんどの人が感じています。

▽「この二年間の学習経験者」は七一・五%でした。男女とも五〇歳代以降の学習者数の低下が目立つものの、六〇歳以上で五割を超える人に学習経験があり、学習に対する高齢者の意欲がうかがえます。(図表2)

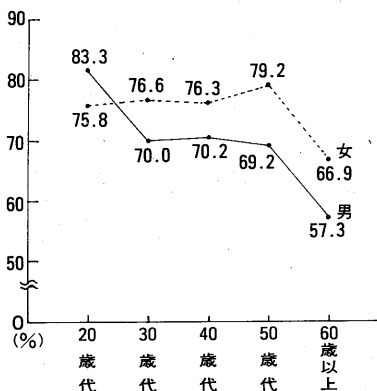
▽「学習してよかったと思うこと」については、「新しい知識・経験を身につけることができた」が男女ともトップで、第二位は、男性が「自分の仕事に役立った」、女性が「新しい友人が増え、人間関係が広がった」でした。

▽「希望する学習の程度」については、「入門程度」一四・八%、「やや高度」五三・八%、「かなり高度」二二・三・八%でした。NHKが昭和六〇年に全

(図表1) おもな質問項目

- 自由時間はどの程度ありますか。
- 自由時間はどのように過ごしていますか。
- 「生涯学習」という言葉を知っていますか。
- 学習の必要性を感じていますか。
- この2年間どの分野の学習をしましたか。
- どういったきっかけで学習を始めたか。
- どういった方法で学習しましたか。
- よく使用した場所はどこですか。
- 1カ月でどのくらい経費がかかりましたか。
- 学習してどういった点がよかったですか。
- 学習が実現できなかったことがありますか。
- 実現しなかった理由は何ですか。
- 希望する学習分野は何ですか。
- どの程度の学習を希望しますか。
- コミュニティ・スクール活動に参加したことがありますか。
- コミュニティ・スクール活動をどの程度ご存じですか。
- 今後コミュニティ・スクール活動に参加しますか。
- 参加を希望しない理由は何ですか。
- この2年間に利用した社会教育施設はどこですか。

(図表2) 学習経験者の割合(年代別)



地域の人々による手づくり講演会「岩園文化サロン」

この岩園小学校区をはじめ全校区でコミュニティ・スクール活動を中心とした生涯学習が、取り組まれています。

希望学習分野は スポーツが上位

▽「学習希望者」は九〇・一%で、過去二年間の学習経験者(七一・五%)を大きく上回っています。

また、希望する学習分野の順位は、男性が①スポーツ②外国語③一般教養、女性が①芸術・芸能②スポーツ③家庭生活でした。過去2年間の学習分野と

(図表3) 経験と希望の学習分野

順位	経験	希望
1位	スポーツ	スポーツ
2位	職業上の知識	外国語
3位	O A 機器	一般教養
4位	一般教養	O A 機器
5位	芸術・芸能	芸術・芸能

順位	経験	希望
1位	芸術・芸能	芸術・芸能
2位	家庭生活	スポーツ
3位	スポーツ	家庭生活
4位	健康管理	健康管理
5位	一般教養	外国語

多くの市民が 市主催の講座を希望

▽九割以上の市民が今後文化やスポーツに関する学習を希望していますが、希望する具体的な「学習の方法」については、

「芦屋市が主催する講座や学級」が群を抜いて多く、四三・七%(男性三七・〇%、女性四七・七%、特に六〇歳以上の女性が五九・六%の高率)のばりまりました。この数

男性は個人学習 女性はグループ学習

▽学習経験者に「学習の方法」を質問したところ、男性は「新聞・雑誌・本」%と圧倒的に多く、女性は「個人教授・教室」が四一・七%、「同好のサークル・友人グループ」が二九・九%と、グループによる学習者が多くなっています。

▽「学習した場所」の第一位は、男性が「自宅」、

今後の 方向

このページは市教委で編集しています。内容についてのご意見・お問い合わせは社会教育文化課(☎3812091)まで。

芦屋市青少年 健全育成の集い

★講演 「生きる」
作家 藤原てい氏
★市民による実践発表



とき 3月2日(土)
13時~16時
ところ ルナ・ホール

問い合わせ 市教育委員会社会教育文化課(☎292091)

variété バリエテ

3月30日(土) ルナ・ホール 出演
開演PM6:30 料金¥2,500(前売) ¥2,800(当日)

70歳以上の市民30人を無料招待
申込みは、往復はがき(必ず「フルートアンサンブルエリオ」と住所・氏名・電話番号を記入)で、ルナ・ホール協会へ。3月15日消印まで有効。

フルートアンサンブル
「エリオ」
ジャズセッション
稲本純一グループ
ピアノ 今出哲也

《プログラム》

無窮動
夏山の1日
A列車で行こう
枯葉
……etc.

公演予告!

お待ちかね

米朝 独演会

4/20
(土)

ルナ・ホール

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。 ※前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。

▷問い合わせ◁
ルナ・ホール協会
業平町8-24
(☎31-4962)